

ディレクトフォース

私は今回の東京大学見学会で新日鐵住金の本社を訪れた。社内は大変広く、社員が大勢いた。ディレクトフォースでは、まず会社の具体的な説明をされた。その説明を聞き、改めて自分がいまいる場所はなかなか普通の人が入ることのできない場所であることを感じた。その後、代表の社員の方が自己紹介をして、いよいよ本格的に話し合いが行われた。

今回のテーマは、「今頑張っていること」と「今頑張っていることが大人になってどう役に立つか」だった。それぞれ異なった意見があり、聞いていて大変興味深く思った。私は勉強を頑張っていることにあげたのだが、周りの人たちは部活が多かった。そのような違う意見もあり、大変参考になった。また、その後各班の意見を聞きそれも参考になった。

今回のディレクトフォースでは様々なことを学んだ。例えば、ストイックに物事を続けることは大人になって仕事をするようになったときとても重要になってくることなどを学んだ。また、新日鐵住金の社員の方々と会話をするによって、また新たな観点から物事をみることができるようになった。さらに同じ班員の意見や、他の班の意見を聞いて、自分の考えをさらに深めることができた。今回のディレクトフォースで私は様々な観点から物事をみることが学んだ。また、新日鐵住金の本社の中に入るといって大変貴重な経験ができたのでとても満足することができた。この経験を忘れず、これからの人生で生かしていきたいと思う。

企業・大学訪問

私たちのグループは法律関係の職を目指すグループだったので、アディーレ法律事務所池袋店を訪れた。まず初めに、簡単に自己紹介をし、その後学校紹介をした。そしていよいよ質問をすることになった。私が弁護士の先生にした質問は「弁護士に必要な力とは何か」である。それに対し、弁護士の先生は弁護士に必要な力は「コミュニケーション能力」と「几帳面であること」と答えた。何故コミュニケーション能力が必要な力であるかという、お客様に法律の話を理解してもらうために沢山会話をする必要があるためである。また、何故几帳面である必要があるかという、弁護士が作る書類は決して間違っはいけないのでしっかりとその書類を何度も何度も丁寧に確認する必要があるからである。私はこの話を聞いて、自分にはコミュニケーション能力が足りないと感じたので、これからはコミュニケーション能力を鍛えていきたいと感じた。また、弁護士は様々な分野を取り扱うので、色々な知識を身につけると大変便利であるということがわかった。このように、弁護士になるために身につけていかなければならないものが沢山あることがわかった。私はこれから今回の企業・大学訪問で学んだことを活かして将来の夢に向かって突き進んでいきたいと思う。その後、弁護士事務所の中を少し見た。あまり詳しくは言えないが、私はアディーレ法律事務所に就職したくなった。今回の企業・大学訪問の時間は大変有意義なものになった。今回の経験を忘れずこれからの人生で活かしていきたいと思う。そして今回の私たちの訪問を快く引き受けてくださったアディーレ法律事務所の方々には本当に感謝したいと思っている。

OBOG との懇談会

夕食を済ませた後、各班に分かれそれぞれの班で先輩との会話を楽しんだ。先輩との会話を通して、私はいくつかのことを学んだ。

まず一つ目に、自分の好きなことを勉強して伸ばしていくべきだということだ。初めの先輩は、自分が自由に勉強できるという理由から今いる学部を選んだと言っていた。それが功を奏して、今自分の研究が充実しているようなことを言っていた。だから、私も無理をせず自分が勉強したいことをしっかり勉強して、自分のやりたい

ことをさらに、磨いていきたい。

二つ目は、授業はしっかりと受けろということだ。確かに自主的に勉強するということは大事だが、それでも授業をおろそかにしてはいけない。それは何故かというと、授業は確実に勉強時間を確保することができるからである。放課後の時間はどうしても部活やその他の時間で奪われてしまう。しかし、授業時間は確実に勉強に当てることができる。したがって授業はしっかりと受けるべきであるということになる。その貴重な勉強時間で寝てしまうと最早、自主勉強では追いつかなくなってくる。だから私はしっかりと授業を受けていきたいと思う。

そして三つ目は、ストイックに勉強し続けることである。どの先輩がたの話を聞いても、皆さんストイックに毎日勉強していたという話を聞いた。私もどちらかというストイックに勉強する方であるが、まだまだ物足りない点もある。だから私は今回聞いた先輩の話を参考に自分の目標を定め、毎日ストイックに勉強していきたいと思った。

私は今回の OBOG の懇談会で聞いた話から学んだ、三つのことを念頭に置いて、これからの人生で活かしていきたいと思う。そして、今回の OBOG の懇談会で学んだことを忘れずにしていきたいと思う。

東京大学オープンキャンパス

まず、私は東京大学に着いて赤門を見た。赤門は私が思っているより遥かに大きく、非常に驚いた。また、中も大変広く一つの大きな町のように感じた。そしてまず初めに、理学部のコーナーの物理学のエリアに行った。そこで様々な展示物を見学した。そこで、東京大学の学生の話聞き、色々なことを理解することが出来た。その次に理学部ツアーに参加した。そこでは主に、水に浮く氷の話や様々な科学についての面白い話を聞くことができた。また、大型の機械などを見せてもらい、科学についての興味がさらに湧いてきた。その次は、数学科の講習を聞いた。今回のテーマは「約 200 年の謎が解ける」だった。その謎とはどのように球体を積みば最も多く積むことができるかという謎だった。その謎が解けると聞いて私は大変興味深く思った。約一時間の講演を聞き、大変難しい内容だったが、数学に対してさらに興味を持つことができた。先生の話もうまく、非常に楽しい時間になった。この講習でまた改めて数学の面白さを感じる事ができた。

今回は初めて東京大学を訪れたが、さすが日本を代表する大学であると非常に感じた。今回の東京大学見学で私は様々なことを学んだ。

まず一つ目は、学生の方々が自分の研究に誇りを持っているということである。どの学部どの学科の学生の方々でも、自分の研究の話をするときは、とても目を輝かせていた。その姿を見たとき私は自分の研究に誇りを持っていると感じた。私も誇りを持てるような研究をしたいと思った。

次に二つ目は、自分の好きな研究ができる環境が整っているということである。研究するにあたり、必要な機械や器具が備わっていて、また、研究に必要な場所も備わっていた。このような環境が整っているようなところで勉強が出来て、学生の方々は本当に幸せな人たちだと思った。

そして最後に三つ目、それは実際に東京大学を見てみると、今までのイメージとは違うことに気づくことである。今までの東京大学のイメージは夢のまた夢のような印象だったが、実際に足を運んでみると、身近なものに感じた。このように実際足を運んでみるとイメージが変わってくることもあるのでこれからはまず実際に自分の目で物事を確かめたい。

今回の東京大学見学では以上の三つのことを学んだ。この学んだことを活かしてこれからの学校生活を充実させていきたい。